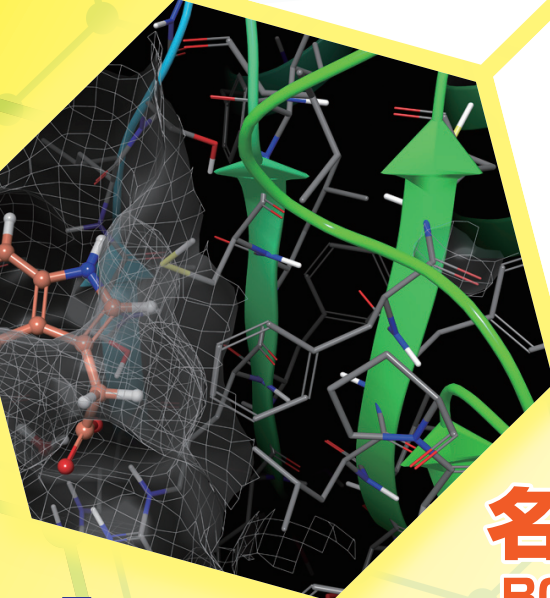
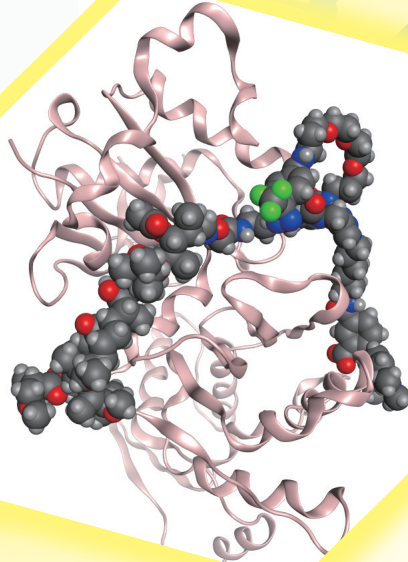
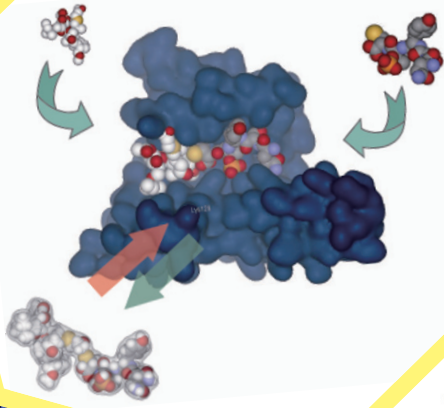


2018年
3月16日(金)
15:00~18:00

ケミカルバイオロジー研究の

最前線

〔日本ケミカルバイオロジー学会との合同企画〕本大会参加者のほか日本ケミカルバイオロジー学会会員は参加無料です



名城大学 天白キャンパス
B03 会場 (共通講義棟南 1階 S103)

プログラム

- 15:00 開会挨拶 吉田 稔 (理研)
- 15:05 ゲノム情報を利用した新規植物ペプチドホルモン探索
松林嘉克 (名大院理)
- 15:35 植物ホルモンシグナルの人工的制御
萩原伸也 (名大院理、JST さきがけ)
- 16:00 ジテルペン配糖体によるたんぱく質間相互作用の制御
大神田淳子 (信州大院農)
- 16:30 タンパク質-生物活性リガンド相互作用を解析するケミカルプローブの開発
北 将樹 (名大院生命農、JST さきがけ)
- 16:55 GLUT4の糖鎖機能を可視化する局在痕跡イメージングプローブ
菊地和也 (阪大工、阪大免フロ)
- 17:25 小分子化合物の新しい可能性：遺伝病治療や再生医療の実現に向けて
萩原正敏 (京大医)
- 17:55 閉会挨拶 西川俊夫 (名大院生命農学)

世話人

西川俊夫 (名大院生命農学) 大神田淳子 (信州大院農)
臼井健郎 (筑波大生命環境) 佐藤綾人 (名大ITbM)



公益社団法人日本農芸化学会
共催：日本ケミカルバイオロジー学会

〒113-0032 東京都文京区弥生2-4-16 学会センタービル2階
TEL:03-3811-8789 FAX:03-3815-1920

<http://www.jsbba.or.jp/2018/>